Creative Enzymes®

ヒト由来のリン酸セリンホスファターゼ、再組換え

Cat. No. NATE-0911

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ヒトホスホセリンホスファターゼ（hPSP）は、セリン生合成のリン酸化□路において重要な酵素であり、内因性L-セリンの主要な部分に寄与しています。既知のL-3-ホスホセリンホスファターゼと同□に、L-ホスホセリンのMg2+依存的加水分解とL-セリンとL-ホスホセリンの間の交換反□を触媒します。最近、その複合体構造は、活性部位の開閉環境□化が生成されたヘリカルバンドルドメインによって、基質の認識と加水分解の局所的再配置に重要であることを明らかにしました。
別名	ホスホセリンホスファターゼ; EC 3.1.3.3; PSP; O-ホスホセリンホスホヒドロラーゼ; PSPase; L-3-ホスホセリンホスファターゼ; PSPH

製品情報

種	人間
由来	大腸菌
外□	無色の滅菌フィルター処理された溶液。
EC番号	EC 3.1.3.3
CAS登□番号	9025-73-4
分子量	25 kDa
純度	95.0%以上は、(a) RP-HPLCによる分析、(b) SDS-PAGEによる分析によって決定されます。
緩衝液	タンパク質は20mM Hepes pH 7.5、1mM DTT、100mM KCl2を含んでいます。

保管・発送情報

安定性	全バイアルを2□4週間以内に使用する場合は、4°Cで保管してください。長期間の保管には、-20°Cで冷凍してください。長期保存の場合は、キャリアタンパク質（0.1% HSAまたはBSA）を追加することをお勧めします。複数回の凍結-解凍サイクルは避けてください。